2026 AUTOBACS SUPER GT RD.1 OKAYAMA GT 300km RACE REPORT

PACIFIC RACING TEAM

SUPER GT 2026
第1戦 岡山GT300km レースレポート

開催日：公式予選 4月11日（土）／決勝 4月12日（日）
開催地：岡山県 岡山国際サーキット

＜予選レポート＞

4月11～12日、岡山国際サーキットにて「2026 AUTOBACS SUPER GT Round.1 OKAYAMA GT300KM RACE」が開催され、いよいよ2026年シーズンが始動した。PACIFIC RACING TEAMは、シリーズに参戦を開始した2010年のスーパーGT参戦開始以降、数々の人気キャラクターコンテンツとのタイアップを実現し、人気を築き上げてきた。今季は、ゲームやアニメなどクロスメディアへの展開を行い、国内外問わず人気を博している『ウマ娘 プリティーダービー』とのコラボレーションカラーリングで挑む。

さらに、チームとしても「メルセデスAMG GT3」から一転、「BMW M4 GT3 EVO」を投入。タイヤもヨコハマからミシュランにスイッチし、新たな挑戦が始まる。ドライバーは昨年に続いて冨林勇佑選手に加え、藤原優汰選手をBドライバーに起用。新たに久保凜太郎選手を迎え入れた３名体制で1年間を戦う。

RACING TEAM

開幕前の３月に実施された２度の公式テストでは、２番手に食い込む好走を発揮していた９号車「PACIFIC ウマ娘 NAC BMW」。開幕戦の気温と路面温度上昇も見据えてタイヤとクルマのセットアップの最適化を進めた上、開幕戦の舞台となる岡山国際サーキットへと乗り込んだ。

４月11日（土）は朝から晴れ間が広がり、気温18度／路面温度24度と公式テスト時よりも上昇した気候となった。午前９時30分より開始した公式練習は早々に赤旗が掲示される場面も見られたが、以降は中断などもなく順調にセッションが進む。しかし、終盤には路温が29度まで上昇するなど、対応の難しいコンディションでの走行となった。９号車「PACIFIC ウマ娘 NAC BMW」は、序盤にセットアップの変更などに時間を要したが、中断後30分ほどで冨林選手が乗り込み、ピットインを繰り返しながら予選に向けて調整を行う。14周をこなした後、FCYテストを前に藤原選手へとドライバー交代を行うと、そのままセッション終了までに11周を重ね、クルマの状況確認を行った。

この結果、公式練習でのベストタイムは1分27秒533と、トップから1.185秒差の21番手となったが、予選に向けて「BMW M4 GT3 EVO」のポテンシャルをさらに引き出すべく、多くのトライを重ねたことで収穫の多いセッションとなった。その後、ピットウォークを経て、午後２時には新型車両で臨む初めての公式予選を迎えた。

Q1・A組に出走した９号車「PACIFIC ウマ娘 NAC BMW」は、冨林選手がステアリングを握りタイヤへの熱入れを行うと、計測４周目に1分26秒277をマークして４番手につける。その後、他者のタイムアップによりひとつ順位は下げたものの、５番手でQ2へと繋げた。

続く予選Q2は、藤原選手が担当。Q1時よりも路面温度が大幅に上昇し、難しい路面でのアタックとなったが、周回ごとに着実に自己ベストを更新。最終的には1分26秒471まで縮めたが、順位を上げるまでには至らず18番手で終えた。予選終了後に、藤原選手は自身のアタックについて「自分の中でのベストは更新できましたが、ドライバーの運転次第ではタイヤの良いところをさらに引き出すことができたのかなと思います。それができなかったのは自身の反省点です」と振り返った。昨年は第３ドライバーとしてともに戦っていたということもあり、予選での実戦経験は多くない。藤原選手にとってもチームにとっても今後の成長へと繋がる予選となった。

<決勝レポート>

決勝日を迎えた岡山国際サーキットは、前日同様に朝から青空が広がる絶好のレース日和となり、多くのファンが足を運び、ピットウォークも大盛況となった。そして11時50分から20分間のウォームアップ走行を経て、13時20分についに2026年シーズン初戦となる決勝レースの開始時刻を迎えた。気温24度／路面温度39度と公式予選時を上回るコンディションの下、フォーメーションラップを経てレースの幕が開けた。

スタートドライバーを務めた冨林選手は鋭い蹴り出しを見せ、ミシュランタイヤのウォームアップ性能の良さも生かしてオープニングラップで2台をオーバーテイク。16番手へとポジションを上げる好スタートを決めた。車両特性上得意としているストレートを武器に、後方から迫り来る32号車「ENEOS X PRIME AMG GT3」を巧みに押さえ込む。さらに、他者のペナルティなども重なり、16周目には14番手に浮上しポイント圏内に姿を表す。

その後も、32号車「ENEOS X PRIME AMG GT3」の追撃を交わし、ピット作業を済ませたライバル陣営の追撃も凌ぎ切ると、37周目にピットイン。中日本自動車短期大学(NAC)の学生メカニックたちによるミスのない確実なピット作業でタイヤ交換を済ませ、藤原選手を送り出す。ステアリングを握った藤原選手は21番手で復帰すると、フレッシュタイヤを活かし、前方とのギャップを詰めるべくプッシュを続ける。しかし、終盤にかけて思うようにペースを伸ばすことができず、その差は少しずつ広がっていく。さらには、後方からじわじわと詰め寄られてしまい、最終盤には2台に先行を許し23番手までポジションダウン。ペースが苦しい面も見られたが、それでも最後まで集中力を切らすことなく走り切り、全75周を完走してチェッカーを受けた。

今季から投入した「BMW M4 GT3 EVO」の初陣は23番手という結果に終わり、悔しさとともに

課題が残る結果となった。しかしながら実戦を通じて完走を果たしたことで得られたデータや手応えも大きく、収穫の多いレースであったことも事実である。予選ではQ1を突破して一発の速さという面で確かなパフォーマンスを示すとともに、決勝では後方から迫るライバル勢を抑え込みながら、一時はポイント圏内を走行。マシンのポテンシャルの高さを随所で感じさせる内容となった。

次戦の富士大会は、今大会以上に気温および路面温度の上昇が予想されるうえ、3時間に及ぶ長丁場のレースが控えており、さらなる過酷な戦いが見込まれる。9号車「PACIFIC ウマ娘 NAC BMW」は、今回のレースで得た貴重なデータをもとにマシンの戦闘力向上に取り組み、次戦ではポイント獲得を目標に万全の準備を整えて臨む。チーム一丸となり、さらなる飛躍を目指す所存だ。

COMMENT

総監督 小林弘和

まずは、2026年も引き続きSUPER GTシリーズに参戦できることを、大変嬉しく思います。日頃より多大なるご支援をいただいておりますスポンサーの皆さまをはじめ、関係者・関係者各社の皆さまに厚く御礼申し上げます。今季から「BMW M4 GT3 EVO」と「ミシュランタイヤ」という新たなパッケージに加え、『ウマ娘 プリティーダービー』とのタイアップでカラーリングも新たに1年間を戦います。
初戦は予選Q2進出や決勝でも随所に競争力のある走りを見せ、今後に繋がる内容となりました。結果としてポイント獲得には至りませんでしたが、チームとしての手応えは確実に感じております。次戦に向けてさらなるパフォーマンス向上を目指し、万全の準備を進めてまいりますので、引き続き温かいご声援を賜りますようお願いいたします。

冨林勇佑 選手

今年からクルマもタイヤも変わった中、事前テストからとても調子が良い状態で開幕戦に向かいました。公式練習では上手くいかなかった部分もありましたが、予選Q1を突破して決勝でも1周目に2台を抜き、一時はポイント圏内も走行できました。決勝では思っていたよりもタイヤが摩耗してペース的にも厳しい状況で、ポイントを取れる流れだっただけに悔しいです。ですが、クルマの優位性やミシュランタイヤの扱いやすさも実感できた1戦となりました。予選と決勝を含めてまだ足りていない部分はありますが、NACの学生メカニックもドライバーもミスなくやれることはやりきった中での実力だと思うので、次戦に向けて総合的に引き上げられるよう次戦も引き続き頑張っていきたいです。

藤原優汰 選手

今年はパッケージも変わって、去年よりもロングランでのペースが良いという傾向も見られました。決勝ではミシュランタイヤの垂れにくいという特性を活かし、順位上げていきたいなと思っていましたが、ペース的に少し苦しいところがありました。ドライバーがクルマのパフォーマンスを引き出す力や、もう少し車体に対して理解を深めるなど、もう一段階高いレベルに持っていきたいですね。決勝でのチームのピットワークも素晴らしく、新型車両に変わってもしっかりと合わせてきてくれたので、とても良かった点だなと思います。次戦の富士はストレートが長く、「BMW M4 GT3 EVO」の車格的にも得意なコースだと思っているので、次戦こそはしっかりとポイントを取りに行きたいです。

PARTNER

NAKANIHON AUTOMOTIVE COLLEGE 中日本自動車短期大学

ウマ娘 プリティーダービー

© Cygames, Inc.

BMW M Motorsport

MICHELIN

SPONSOR

No9

東邦ロジスティクス TOUHO Logistics

オカダキンジク フジショウジ

愛知電線

Style Estate

TTB TOMA Total Business Co.,Ltd. 株式会社トウマトータルビジネス

TOUHO Logistics

TAISEI KOMU "人 生き生き" の街づくり 大成工務株式会社

UMEDA GROUP

KANAO CORPORATION

Ace's

Style Plus 名古屋

中日本氷糖株式会社

有限会社 ナリーエンタープライズ NALLY ENTERPRISE INC. Valuable Information for you

新英金属 毎日が、宝探し。

シンコーグループ 新晃薬品株式会社

HOUSER

LLC.Mfaf

HOME LAB. - ホーム ラボ -

株式会社 Ys.レブレンス Demolition into the future

FUJIGraphic Factory

PRP

PACIFIC AGENCY

JI-Corporation

elf

UNIMAT LIFE CORPORATION

MECHANIX WEAR

MIZUNO